

中国市場：軸性脊椎関節炎／乾癬性関節炎 | Access & Reimbursement

2016年5月発刊

中国では脊椎関節炎の有病率が上昇しており、強直性脊椎炎（AS）の推定有病者数は160万人を超える。乾癬性関節炎（PsA）有病率は成熟市場より依然として低い一方、新薬の欠如と国産バイオシミラーの上市により、製薬企業がブランド生物製剤のポテンシャルを最大限にするため慎重に位置づけをする重大性が増してきた。

報告書はリウマチ専門医と主な薬剤の償還・アクセスに影響力を有する支払者50名の洞察を集約し、市場アクセスの障壁が中国でのAS・PsA治療にどう影響を与えるか調査します。

調査におけるキーポイント

- 償還状況は処方にもどう影響するか？ PsA、ASに対する生物製剤の処方率は、財政的な障壁によってどの程度制限されるか？
- 中国における新「自由薬価」方針と「公立病院改革」は、薬価決定と償還にもどう影響するか？
- 生物製剤の処方における現在の牽引力と障壁、これら薬剤の使用率に対するコスト関連／臨床上の主な障壁は？
- etanerceptの国産バイオシミラーが処方可能になると現治療にもどう影響するか？ 医師の適用外処方の傾向は？
- 支払者はバイオシミラーをどう捉えるか？ バイオシミラーの存在により、ブランド薬の薬価低下が推進され生物製剤の償還状況にも影響するか？
- 新規薬剤に対して支払者は何を期待するか？ 市場アクセスの障壁はどうか？ 今後新薬が直面する可能性の高い課題は？

- リウマチ専門医はバイオシミラーと新薬をどのように処方するか？今後3年間にバイオシミラーと新薬が既存ブランド薬に与える影響をどう見込むか？

報告書の調査範囲

本報告書は、AS、PsA に対する既存生物製剤の処方パターン、新規生物製剤とバイオシミラーの到来予測で見込まれる影響、及び今後 2~3 年間に中国における生物製剤の使用を形成する国家・地方の市場アクセスに関する主な要因を調査します。

調査方法： リウマチ専門医 50 名へのサーベイ、国内又は地域レベルの影響力を有する下記支払者 3 名へのインタビューに基づき、弊社専門分野アナリストが分析・洞察します。

支払者 3 名：上海市 PRDL 更新委員。江蘇省 PRDL 更新委員。北京市 CFDA の薬剤審査専門委員